



みさき

22号

美咲町議会だより

主な内容

予断をゆるさない町財政

21年度決算特別委員会

3～5

全額助成 子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン

22年度補正予算

6～7

空き家対策などをたどす

議員13人が一般質問

8～20

9月定例会の報告

9月14日から30日まで

定例会が開催され、21年度決算・22年度一般会計補正予算など、予算案件28件、条例8件、その他4件の議案が上程された。

条例の改正

条例の関係議案は、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

停留所を一カ所新設

◎旭川ダム沿線バス運行事業に関する条例を一部改正

利用者の利便性と乗車人数の拡大を図るため、久世行3便と八幡温泉行4便に「サンプラザ前停留所」を新設する。

三休公園を指定管理者制度で

◎三休公園民話館設置



一年中にぎわう公園へ（三休公園）

条例の全部改正 ◎三休公園民話館設置

行政の直接管理から指定管理者制度による運営へ移行する。

条例の全部改正 ◎アジアの民話館桜湖 郵設置条例の全部改正

請願・陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書採択を求める請願

（紹介議員：岩野正則）
〔民生教育常任委員会付託〕

岡山県教職員組合
久米苦田支部

支部長 矢野祐治
義務教育制度の拡充は必要であるが、教員賃金について議論があった。よって趣旨採択とした。

子ども手当の廃止を求める意見書提出に関する陳情

〔民生教育常任委員会付託〕

日本の子供の未来を守る会

三宅順子

子ども手当については、賛否両論があり趣旨採択とした。

国・県に私学助成を求める意見書提出に関する陳情

〔民生教育常任委員会付託〕

岡山県私学助成を進める会
会長 小橋 操

私学と公立の格差は認めるものの、私学があり方について議論があり趣旨採択とした。

建設事業に関する陳情

〔産業建設常任委員会付託〕

あさひ建設協会

代表 江原道真
趣旨は理解できるものの、審議の結果趣旨

採択とした。

中央中学校建設工事に関する陳情

〔産業建設常任委員会付託〕

美咲町建設業協会
会長 杉本親美

陳情の内容はすでに対応しているものもある。よって趣旨採択とした。

防災協定の締結等についての要望

〔産業建設常任委員会付託〕

久米郡建設業協会
代表理事 浅津真悟

要望の内容には対応が困難なものが含まれている。よって一部採択とした。

これからも厳しい 美咲町の財政

歳入119億4,613万円 (20年度比9.0%の増)

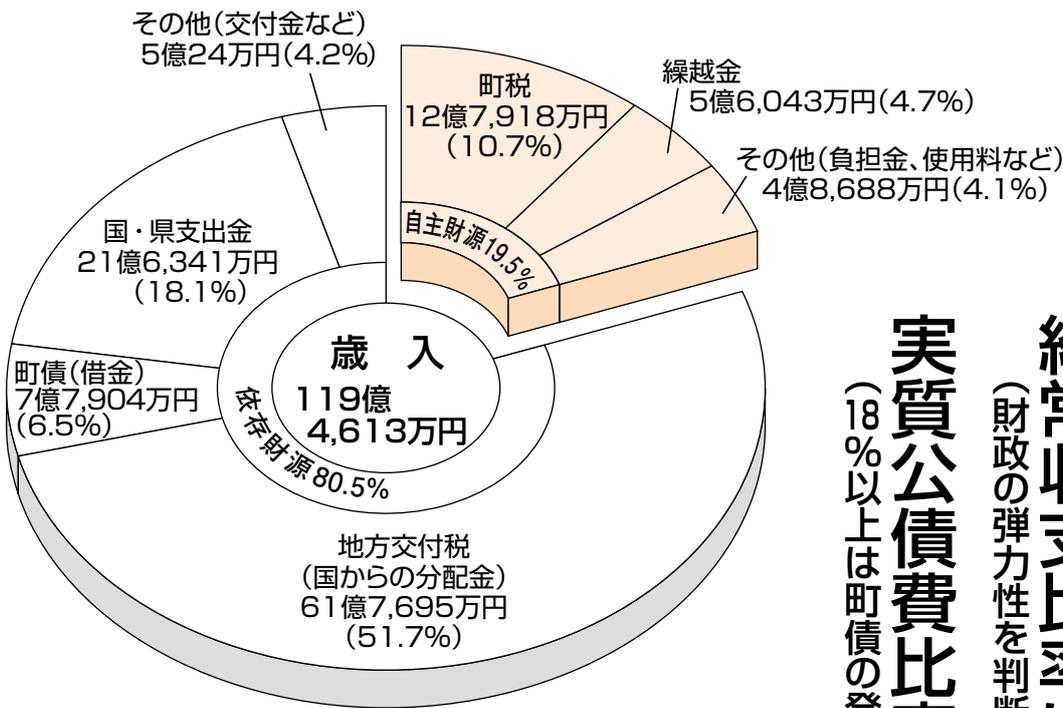
自主財源は約23億円 借金の返済に約27億円

21年度歳入歳出決算報告

一般会計決算

収入未済額 (集金が遅れているもの) 1億2312万円

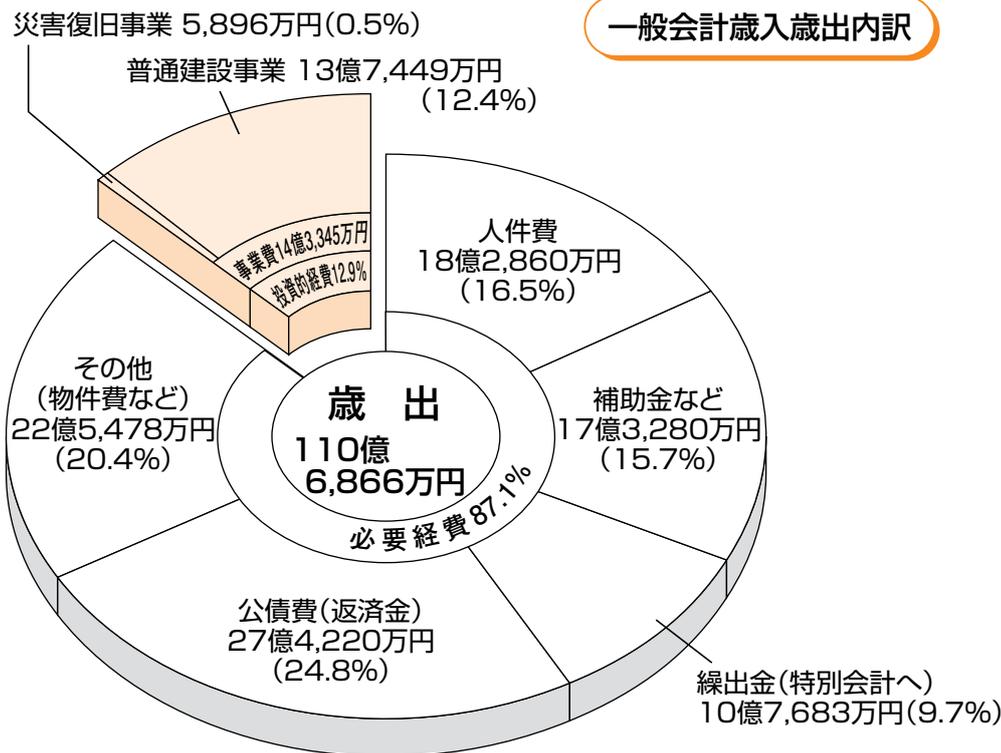
不納欠損額 (集金を断念したもの) 1988万円



経常収支比率は85.3%にやや改善
 (財政の弾力性を判断する指数 75〜80%が健全とされる)

実質公債費比率は19.6%と依然として高い
 (18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

一般会計歳入歳出内訳



より計画性のある町政運営を

決算認定特別委員会

9月24日・27日に各課から提出された歳入・歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事務報告書などの資料をもとに21年度の事業内容、執行状況の説明を受けた。

決定した予算執行が適正に行われたか、行政効果・財政状況などの評価を基準に審査した。

一般会計と27特別会計の概要は図表のとおりである。

リーマンショックによる世界的経済不況が広まった関係で、国からの経済対策臨時交付金が交付されたことにより一般会計の総額は百二十億円近くにまで膨らんだ。

経常収支比率などの財政指標にわずかな改善が見られるものの、国の経済対策の影響が大きく予断はゆるるされない。22年度以降の公共下水道継続事業、中央中学校建設などの大型事業が控えており、後年度への負担増が予測される。将来を予測した健全な町政運営を求め、21年度決算を全会一致で承認した。

特別会計決算

一般会計からの繰り入れを減らし 独立採算に向けての取り組みが必要

21年度 27特別会計の内訳

	特別会計内訳	歳入額	歳出額	
貸付事業	住宅新築資金等貸付事業	1,758万円	5,055万円	
	バス運行事業	1,465万円	1,384万円	
バス運行事業	津山・西川線共同バス運行事業	1,617万円	1,559万円	
	旭川ダム沿線バス運行事業	3,579万円	3,367万円	
	保険事業	国民健康保険事業	18億4,038万円	18億1,296万円
		老人保健事業	4,927万円	2,487万円
介護保険事業		17億7,437万円	17億4,944万円	
介護サービス事業		1,077万円	1,072万円	
久米郡介護認定審査事業		969万円	938万円	
国民健康保険診療所事業		683万円	644万円	
久米郡障害程度区分認定審査事業		105万円	99万円	
水道事業	後期高齢者医療	1億9,179万円	1億8,992万円	
	柵原飯岡簡易水道事業	2,819万円	1,666万円	
	柵原北部簡易水道事業	1億9,803万円	1億9,297万円	
	柵原中央簡易水道事業	1億1,702万円	1億840万円	
	総合簡易水道事業	3億8,333万円	3億7,663万円	
	中央簡易水道事業	1億7,642万円	1億7,229万円	
	中央北部簡易水道事業	3,679万円	2,005万円	
	中央打穴・大坪和簡易水道事業	8,815万円	7,948万円	
	下水道事業	1億4,104万円	1億3,198万円	
	柵原公共下水道事業	7億3,505万円	7億477万円	
その他	中央公共下水道事業	5億7,623万円	5億6,314万円	
	みさきネット事業	1億2,057万円	1億2,039万円	
	三休公園事業	1,061万円	985万円	
	土地開発事業	2,143万円	2,075万円	
	用地取得造成事業	1億5,951万円	1億4,339万円	
	倭文西財産区	28万円	3万円	

歳入決算総額

67億6099万円

歳出決算総額

65億7915万円

決算認定特別委員会

主な質疑応答

【総務課】

問 山陽時事問題負担金七万二千元があるが、参加者は

答 山陽新聞主催で町三役が参加した。一回六千円で年12回分。

【企画財政課】

問 分譲宅地購入者のうちイターン・Uターンの内訳は。

答 宅地購入者のうち、町外の人が約半数である。

【健康増進課】

問 離乳食教室は本庁1カ所での実施となっているが、3地域での実施はできないか。

答 母親同士の交流を目指して一カ所を実施している。各地域の母親クラブへは栄

養士が個別に対応している。

【税務課】

問 税の徴収率は何か。

答 国税は93・6%、町県民税は98・3%(21年度現年)。

【住民課】

問 町営住宅使用料が滞納6件で六百

答 万円もあるのはなぜか。合併前からの長期滞納がある。未

収分は分納および調停など法的解決方法で対応している。

【上下水道環境課】

問 クリーンエネルギーのエコカーに対する町の上乗せ補助金の額は。

答 13年以上の車の買い替えには十数万、13年未満のものに

は五万円の補助金を交付した。

【産業観光課】

問 中山間地域直接支払は多額だが参加率はどうか。

答 100%の参加ではない。2期目からは交付基準が厳しくなっている。

【建設課】

問 建設課が担当する予算は十一億三千万円。町予算の割に相当する。このうちの工事費はどれくらいか。

答 八億九千万円が工事関係予算である。

【情報交通課】

問 雷による故障でIP電話が通じなくなった事例があるが、百台以上の修繕工事を行ったか。

答 特定検診には目標受診率が設定されているが、下回った場合ペナルティーがあ

【保健福祉課】

問 特定検診には目標受診率が設定されているが、下回った場合ペナルティーがあ

るのか。

答 受診率が65%以下になると、高齢者支援金約千七百万円がカットされる。

【教育総務課】

問 通学路の防犯灯は教育委員会で管理しているが、今後も継続するの

か。

答 合併協議で決定した。その内容で管理している。

【生涯学習課】

問 図書購入で中央図書館分の予算が余っているか。

答 一括で購入しているため端数が残るが、ほぼ使用できている。



元気で大きくなってね (中央保健センター)



道路整備はまだまだ地域の課題 (和田北地内)

常任委員会から

総務 財政調整基金に 3億6千万円積立

22年度一般会計など補正予算、条例、その他付託された18件を審査した。予算8件及び条例8件、その他2件を全会一致で承認した。

◎ **一般会計補正予算**
歳入歳出に七億二千九百三万円を追加し、総額百十八億五千六百四十三万円、とするもの。

【主な歳入】分担金および負担金千九百十九万円、国庫支出金一億七千二百九十三万円減額、県支出金一億五千二百三十四万円財産収入七百三十万円、繰入金三百三十九万円、繰越金七億四千二百八十八万円、収入千七百六十八万円。

【主な歳出】財産管理

費三億六千六百万円は財政調整基金積立金。公用車購入費三百八十三万円は軽四車両3台購入。支所および出張所費百五十万円は支所周辺整備計画委託料。企画費の集会所施設整備補助金百八十万円は集会所3施設への補助金。徴税費八百二十七万円は土地鑑定委託料。

【総務課】

■ **主な質疑応答**

【問】 柵原総合支所周辺整備計画の主な内容はどのようなものか。

【答】 現時点では内容が決定している。柵原地域の意見を十分に聞いて、周辺整備計画を策定し検討の後に決定する。

【情報交通課】

【問】 みさきネット特別会計事業は一般会計からの繰入金が多額である。加入率が何%になれば独立採算での運営が可能となるのか。

【答】 概算だが、80%以上になれば独自の運営が可能と思われる。

【税務課】

【問】 土地鑑定はどこに委託するのか。

【答】 岡山県不動産評価センターに依頼し、三年に一度二人で124カ所の宅地を現地視察して評価している。

【問】 9月補正で予算化された、集会所施設修繕要望が提出されている、中央地域の小原老人憩いの家および旭地域の友重老人共同作業所を視察した。共に30年以上経過し、改修時期は適当である。

【答】 付託された議案を審査し、予算案9件は全会一致で承認。請願1件、要望2件は賛成多数で趣旨採択とした。

◎ **一般会計補正予算**
予防費八百三万円は、子宮頸がんワクチンおよびヒブワクチンの接種に全額助成するもの。住宅臨時管理費二百三十七万円は、町営住宅の火災警報器、百六十六万円は、町有住宅の火災警報器取り付け費。老人福祉費の内、白寿荘の施設内保育に三百万円、あさひが丘の特養に四百万円の追加。富田泰司教育福祉振興基金の三百万円は、審査委員会で使用道を決めるもの。

【健康増進課】

【問】 子宮頸がんワクチンとヒブワクチンを接種できる医療機関は。

【答】 子宮頸がんワクチンは久米郡内。ヒブワクチンは久米郡と津山市の医師会にお願いしている。かかりつけの医療機関で接種できる。

【教育総務課】

【問】 富田泰司教育福祉振興基金の使い道は、審査委員会が協議することだが、委員会委員の構成と今後の予定は。

【答】 委員は、教育委員長、社会福祉協議会会長、学識経験者など、5人で構成する。



改修工事が行われる小原老人憩いの家

民生教育

子宮頸がん・ヒブワクチン接種に全額助成

付託された議案を審査し、予算案9件は全会一致で承認。請願1件、要望2件は賛成多数で趣旨採択とした。

◎ **一般会計補正予算**
予防費八百三万円は、子宮頸がんワクチンおよびヒブワクチンの接種に全額助成するもの。住宅臨時管理費二百三十七万円は、町営住宅の火災警報器、百六十六万円は、町有住宅の火災警報器取り付け費。老人福祉費の内、白寿荘の施設内保育に三百万円、あさひが丘の特養に四百万円の追加。富田泰司教育福祉振興基金の三百万円は、審査委員会で使用道を決めるもの。

【健康増進課】

【問】 子宮頸がんワクチンとヒブワクチンを接種できる医療機関は。

【答】 子宮頸がんワクチンは久米郡内。ヒブワクチンは久米郡と津山市の医師会にお願いしている。かかりつけの医療機関で接種できる。

【教育総務課】

【問】 富田泰司教育福祉振興基金の使い道は、審査委員会が協議することだが、委員会委員の構成と今後の予定は。

【答】 委員は、教育委員長、社会福祉協議会会長、学識経験者など、5人で構成する。

【問】 富田泰司教育福祉振興基金の使い道は、審査委員会が協議することだが、委員会委員の構成と今後の予定は。

【答】 委員は、教育委員長、社会福祉協議会会長、学識経験者など、5人で構成する。

【問】 富田泰司教育福祉振興基金の使い道は、審査委員会が協議することだが、委員会委員の構成と今後の予定は。

【答】 委員は、教育委員長、社会福祉協議会会長、学識経験者など、5人で構成する。

【問】 富田泰司教育福祉振興基金の使い道は、審査委員会が協議することだが、委員会委員の構成と今後の予定は。

【答】 委員は、教育委員長、社会福祉協議会会長、学識経験者など、5人で構成する。

本年度5回の審査委員会を予定している。

【生涯学習課】

問 全国大会などへ出場する人に激励金を支給するスポーツ振興事業は、励みになる良い制度だが、団体競技には、支給の上限を設けるべきではないか。

答 美咲町の名を全国に広める意味でも、貢献している。支給の上限は定めていない。



ピカピカに改修された飯岡体育館

いので検討したい。

■現地を確認

本年度に繰り越された事業の進捗状況を確認した。飯岡体育館、町営藤原住宅、柵原中町営柵原プール管理棟、エイコンスタジアム駐車場、加美小学校、緑花公園グラウンドゴルフ場周辺など、適正に整備・改修されていた。

産業建設

生活道路整備に

約1億4千万円

付託された一般会計補正予算案件など16件を審査した結果、予算案は全会一致で承認した。陳情2件は趣旨採択、要望1件は一部採択、道路認定1件は現地を確認して認定とした。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問 エコカー補助金は終了したのか。

答 国に合わせて本町も終了した。

問 簡易水道事業が28年度から上水道に変更される。岡山県全体の広域化は考えられないか。

答 会計は一本化する。広域化は未定である。

問 下水道工事の入札でランクを下げているが、指名しているが管理・指導は徹底しているか。

答 細部にわたり指導している。

【産業観光課】

問 ハンカチアートとはどのようなものか。

答 町内を黄色いハンカチで飾り黄福物語に結び付けていく。

【建設課】

問 県への事業負担金が三千万円と高額である。今後の予定は。

答 今後と同額程度か負担が増える見通し。

問 3地域へのバランスの取れた事業を行っているか。

答 バランスの取れた事業費配分ができてきていると思っている。

■現地を確認

県道改良工事に伴い旧県道を町道に認定する3路線について現地を確認した。旭地域西川地内の「西川線」、柵原地域宮山地内の「赤塚線」、大戸上地内の「大戸上定宗旧県道」。異議なく認定とした。



改良工事により旧県道が町道に (大戸上地内)

問 答

一 般 質 問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

どうする

滞納金の徴収

法的措置を含めて

対応

答 弁



日神山定茂 議員

問

21年度決算において、未収金・滞納金の総額が二億七千万円に達し年々増加している。現在の状況はどうなっているか。

答

桑元住民課長

住民課の主な滞納金一覧

住宅使用料等	969万円
高齢者住宅貸付	157万円
災害援護資金貸付	445万円
生活改善資金貸付	155万円
住宅新築資金貸付	8,656万円

問

滞納金の主なものは表のとおり。滞納者に対しては年3回以上の催告書送付、電話催促、個別訪問などで徴収に努めている。

答

形井副町長

夏と冬には管理職による特別チームを編成し、休日を含め約2週間徴収にあたっている。連帯保証人にも納付してもらおうなど成果は上がっている。

問

特に悪質な滞納者には時効中断の処置を取り、専門機関の協力による法的措置を図るなど公平性を持った対応を行うべきではないか。

答

鳥越税務課長

高額滞納者、数

問

年にわたる滞納者に対しては、岡山市町村税整理組合に依頼して55件の不動産を差し押さえて徴収に対応している。

答

定本町長

他の市町村も収納率の向上に苦慮している。不況下で払えない人もいるが、高額所得者の長期滞納者には法的措置も取っていかなければならない。

町有地販売に

業者の活用を

問

町には約70件の借地がある。必要な土地は買収し、不要な土地は返却する決断と実行が必要である。

答

難波企画財政課長

また、町有地には未使用の土地が多くある。分譲宅地も5団地で約30区画が売れ残っている。この際、不動産業者に依頼して販売促進を図ってはどうか。

問

却については交渉を続けているが難しい状況にある。町有地の販売を業者に依頼することは十分に検討したい。

答

矢木産業観光課長

は考えられないか。年間を通じたイベント毎にチラシ、メディアなどそれぞれに合った広報活動を展開している。

積極的に

町の情報発信を

問

ラジオなどのマスメディアを使いた町の情報提供はできないか。町が行うイベントなどを定時でPRし、多くの人に美咲町を訪問してもらう方法を進めていく。

答

定本町長

商工会によるたまごまつり開催、スポレク柵原の黄色いラメンなど、黄福物語の基礎的な諸条件を整えながら地道に町のPRを進めていく。



町外からも来場者多数 (たまごまつり)

町政を

質問

借地の料金と期間の見直しを図れ

契約更新時に

交渉していく

答弁



下山和由 議員

問

18年度に町の借地状況報告を受けて現地を確認した。18年度に千二百六十一万八千円であった借地料が買収交渉の結果、19年度には千三万七千円に減少している。今後、料金・契約期間の見直しを図るなどの対応は考えているか。

答

難波企画財政課長 借地料は減少しているが、買収には至っていない。今後、建設される公共施設の用地はすべて買収してい



ゆかた姿もステキ！子どもたちの夢を大切に（北和気納涼祭）

く。

答

定本町長 借地の多くは柵原地域に存在している。当時、最善の方策として執行された政策が

問

柵原中学校吹奏楽部は、指導者がいなくなるため本年度末で廃部される予定と聞く。この部活動はこれまで住民との密接な

柵原中学校吹奏楽部の存続を

今日まで続いている。今後は、更新時に料金改定もしくは買収の方向で交渉していく。

答

柵原中学校は生徒数・学級数の減少で教員数が減っている。音楽科目は週一度であり、非常勤職員が旭中学校と兼任しているため、吹奏楽部の指導が

できない現状である。今後、学校と協議し対応を十分検討する。

高齢者の

所在確認は万全か

問

先般、全国各地で高齢者の所在不明が判明し、行政の怠慢ではないかとの報道がなされた。本町において確認はできているか。

年金支給調書を作成し、民生委員と行政と

が密接な連携を維持し、高齢者に対する配慮を強く望む。

答

桑元住民課長 今年中に百歳を迎える人が本町では二十三人（男性四人・女性十九人）おられるが、現時点での所在はすべて確認できている。

本町に戸籍がある百歳以上で所在不明となっている人は、最高齢の百三十三歳を筆頭に九十七人いる。現在個々に調査を進めており、今後法務局と事後処理を行っていく。

答

福田保健福祉課長 後期高齢者医療保険、介護保険の更新時に高齢者の安否確認を行っている。また、緊急通報装置の設置、民生委員による見守り、社会福祉協議会などと連携した生活支援サポーターにより高齢者に対する配慮を強化していく。

質問

エネルギービジョン
具体策は

太陽光発電に

力点を置く

答弁



山本宏治 議員

問

本年度の主要事業として計画している新エネルギービジョンの策定状況はどうなっているか。また、今後どのように活用していくのか。

答

矢木産業観光課長 美咲町地域新エネルギービジョンは、

NEDOからの補助金を活用し、中国経済産業局の協力を仰ぎながら、太陽光、木質バイオマス、風力、水力などをエネルギーとして取り入れるための事業

を計画する。近くビジョン策定委員会を設置し、重点施策の検討など10項目について各分野から専門的意見を集約したのちに来年2月末までに計画策定を完了させる。

答

定本町長

本町においては特に太陽光発電に力点を置いた計画策定を行い、まず中央中学校新校舎への設置を進めた。

問

本町では、災害時に宅地内へ災害崩土が発生した場合最大十萬円の補助がある

崩土の除去補助費

拡大を

答

定本町長

が、これは家屋の裏側だけが対象となる。表側も含めた全面的な補助制度の充実はできないか。

宅地内の崩土除去費用への補助は本町独自の施策であり他市町村では取り組んでいない。公共施設が関係すれば対応も有り得る

各種イベント行事の今後は

が、原則として個人資産へのこれ以上の対応は難しい。

問

美咲町では各種のイベント行事を行っているが、今後の方向性をどう考えているのか次の3点について

て説明を求める。
①成人式は毎年夏に開催され、今年は「まきばの館」で実施した。この形を継続するのか。
②柵原星の里マラソンは予算計上されていない。本年度は実施するのか。
③三休公園は商工会に指定管理委託されるが、さくらまつりはどうするのか。祭りの際に町民には駐車場無料化が望ましいが。

答

定本町長

来年の成人式は柵原地域での実施を考えている。夏開催か冬開催についてアンケート調査を行い、結果を基に判断する。

星の里マラソンは、近日中に結論を出す。

さくらまつりは、久米郡商工会と協力して盛大に行う。駐車料金については検討する。



今日から大人の仲間入り がんばるぞ！（今年の成人式から）

質問

吉井川河川改修

今後の予定は

着実な整備の実行を

県に要望する

答弁



梁山朝子 議員

問

県道津山柵原線
小瀬～久木間の交
通安全対策（歩道設置）
工事が完成したが、引
き続き小瀬地区の吉井
川沿いにパラペット整
備工事が約束されてい
た。いつから着工する
のか。

答

池本建設課長

平成10年災害に
より策定された吉井川
河川改修計画による
と、今後の整備予定は
①連石地内の改修②栗
子橋の架け替え③王子
地内の改修が行われる。



災害防止に向けた取り組みは急務（吉井川）

の着実な整備実施を県
に要望する。

高校生への

医療費助成継続を

問

現在進めている
高校生の医療費無
料化は来年3月末まで
の期間限定となってい
る。引き続き継続すべ
きではないか。

答

福田保健福祉課長

高校生への医療
費助成額は、21年度は

延べ千二十五人に三百
九十六万円を支出した。

答

定本町長

高校生への医療
費助成を拡大した時
は、不況下における経
済的負担を軽減する目
的で2年間を限度に実
施した。

現在も厳しい雇用情
勢が続く中にあるが、
将来を踏まえて考えて
いく。

みさきネット

加入率を上げよ

問

みさきネットへ
の加入促進を図る
ための方策として、告
知放送を利用した番組
内容の放送はできない
か。また、現在の加入
状況は。

答

遠藤情報交通課長

みさきネットへ
の現在の加入状況は、
告知放送加入者558
1戸に対してケーブル
テレビ加入者は287
3戸で51・48%の加入
率となっている。

これまで広報みさき
のページを使ってみ
さきテレビの内容をお
知らせしている。来年

7月からアナログ放送
が見られなくなるの
で、告知放送において
もみさきネットへの加
入促進をPRしていく。

柵原の保育園整備

に着手を

問

新政権のもとで
子ども手当を利用
した保育所整備の話し
が出ている。これを利
用して0歳児保育も含
めた柵原地域の保育園
再編成を進める考えは。

答

定本町長

9月補正予算に
百五十万円を計上し
た。柵原の中心地域と
なる柵原総合支所周辺
を活性化させるための
プランを地域住民の意
見を基に策定する。保
育園もこの中で検討で
きればと考えている。

質問

住宅の増改築
修繕に補助を

合併浄化槽の
補助金を増額する

答弁



岩野正則 議員

問

真庭市では住宅リフォーム補助金を実施している。住宅の再利用を図るとともに個人の財産価値を上げるため、次の3点について検討を。

- ①老朽住宅、空き家の改修に助成を。
- ②合併処理浄化槽設置の促進と下水道接続率の向上。
- ③町内業者を利用した住宅改修に助成を。

答

難波企画財政課長 空き家リフォームに補助金を実施して

め、これまでの補助金に五万円ほど加算したいと考えている。

問

ふるさと回帰による定住促進を図るため、次の2点について検討を求め。

- ①定住のための起業支援ができないか。
- ②団塊移住・お一人様移住・お試し移住にやなはら町有住宅空き室の活用ができないか。

赤堀上下水道環境課長

答

合併処理浄化槽の整備促進のため補助金の増額を検討する。現在の下水道接続率は柵原地域の農業集落排水が69%、中央地域の公共下水道が54%。接続率向上に向けた啓発活動を続けていく。

答

定本町長 新築には補助金を出しているが、空き家への補助金は難しい。北和気・南和気・塚角地区は合併処理浄化槽設置区域へ変更する。今後は合併処理浄化槽設置促進を図るた

定住支援に積極的な対応を

問

ふるさと回帰による定住促進を図るため、次の2点について検討を求め。

- ①定住のための起業支援ができないか。
- ②団塊移住・お一人様移住・お試し移住にやなはら町有住宅空き室の活用ができないか。

矢木産業観光課長

答

帰農者支援事業でブドウ栽培をする人や就農希望者には支援をしている。定住のための雇用の確保では美咲町企業誘致条例に沿って対応している。また、産業支援のアドバイザーとして「トヨタ紡織株相談役好川純一氏」の講演会を実施する。

答

定本町長 現在の町有住宅の条例では、一人の入居には条件が厳しい。何かのアクションを起こす必要はあると考え



Iターンで田舎ぐらしにはまっています(両山寺の古民家に暮らす愛甲夫妻)

答

定本町長 現在の町有住宅の条例では、一人の入居には条件が厳しい。何かのアクションを起こす必要はあると考え

問

町民に負担を求め、外部委員を募り、町事業の検証を行って成果の公表

問

町民に負担を求め、外部委員を募り、町事業の検証を行って成果の公表

答

定本町長 今後五十人委員会で見聞を聞くが、町事業に対する異議の申し立てや提案、承認には議会が一番良いと判断している。第三者に任せるのではなく、議会の判断を重視したい。

財政再建には事業仕分けが必要

質問

防災に対する 施策を強化せよ

危機管理能力の 意識強化を進める

答弁



角南憲一 議員

問

防災カメラが柵原地域に4カ所設置されたが、設置基準は定められているのか。

答

遠藤情報交通課長 役場内の防災関係者で協議し、議会の同意も得た上で設置場所を決定した。当初計画から変更し防災カメラだけの事業としたため設置基準は定めていない。

問

吉井川と吉野川の合流点に岡山県が防災カメラを設置している。このカメラの映像には、水位を監視するための工夫がされている。本町も防災機能を充実する考えはあるのか。

答

中西柵原総合支所長 夜間の照明不足など

問

課題もあるが、水位の変化が判別できるように改善する。多くの災害情報を的確・迅速に解析する体制は確立されているのか。

答

杉山総務課長 県の防災メールには県内全域の情報が集められており、この情報を基に活動している。

答

定本町長 柵原地域における防災に対する意識が非常に高いことは認識している。

問

危機管理能力は公務員にとって一・二番を争う要素である。役場幹部及び職員に対して講演会を通じての勉強会を開催し、備えあれば憂いなしという言葉のとおり努力を重ねていく。



ここから危険水域!

わかりやすい表示を町の施設にも (国道374号線周匝橋)

質問

雇用の充実で 人口減少に歯止めを

答弁

厳しい雇用情勢は 実感しているが

問

「一に雇用、二に雇用、三に雇用」を掲げる菅改造内閣が発足した。本町における雇用対策を担当する産業観光課の具体的な業務内容はどうなっているか。

答

矢木産業観光課長 雇用対策に対する産業観光課の主な業務は、勤労者貸付制度、経営安定関連の補償制度に関するものである。

問

地域雇用創出推進費によって何人の雇用増加が図られたのか。

答

矢木産業観光課長 この交付金は雇用情勢や経済・財政状況の厳しい地域へ重点的に配分されるもので、その用途は各自治

問

本町の人口は、合併後5年半で約千二百人減少している。人口減少に歯止めをかける雇用対策の実施は緊急の課題だが。

答

定本町長 厳しい雇用情勢を認識している。来年度の職員採用を若干名募集したところ六十人程度の応募があった。

質問

人口激減に歯止めを

若者支援策を考える

答弁



松島 啓 議員

問

本町の人口減少率は、県下でもトップクラスである。今後、さらに危機感を持つて、あらゆる角度からの施策展開を行うべきではないか。

①町長の考えは。
②人口減少の原因を、しっかり分析しているか。
③地域に定住する若者への支援策を

答

定本町長

①人口減少よりも、人口構成が一番の問題ではないかと考える。
②本町における21年度の人口動向は、出生九十人に対し、死亡二百五十七人。転入三百八十二人に対し、転出四百五十八人、一年間で二百四十三人の減少

である。
③地域で、頑張っている若者への支援策を考えていきたい。

観光振興の

新たな展開は

問

本町の観光施策を、策定しているか。

①町の観光振興計画を、策定しているか。
②《美咲町黄福物語》のストーリーと、今後の展開は。
③地域資源を生かした創造的な観光振興を。

答

矢木産業観光課長

①観光振興計画は、定めていないが、美咲町振興計画の中に、観光振興として載せている。
②《美咲町黄福物語》は、幸せのイメージを持つ黄色を主体としたまちづくりで、町内の観光地を黄色いもので結ぶ観光プランである。

たまごかけごはんを黄福定食と命名して、食でのまちおこしを行っている。
『黄福のレンガ』を町内各地で活用し、地球にやさしいまちづくりを進める。
町内各地に黄色いハンカチを配置して、ハンカチアートの制作を行う。
③町内には、昔からの農村の原風景があり、郷土の歴史や文化の薫りなど、町ならではの宝が残っている。今後も、民間と行政の連携を強化し、観光振興に取り組んでいく。

答

定本町長

旅行会社の企画したバスツアーなどで、観光地の集客を伸ばしたい。また、黄福レンガを使った、鉱山公園の改修を予定している。

災害を未然に

防ぐ対策を

問

降雨のたびに、崩土など、災害の恐れがある家屋が多く



私たちの夢がかないますように (黄福物語ハンカチアート)

答

杉山総務課長

ある。宅地内の土砂を除去する場合の補助金制度はあるが、家屋の裏などの崩土災害を、未然に防ぐ補助金交付制度はできないか。
また、非常時の物資、食料、水などの備蓄は、現在、町内の建設業協会と調整している。

問

美咲町としての対応を今後検討したい。
地元業者との防災協定は、締結したのか。
また、非常時災害支援の協力をお願いしていく。

答

定本町長

美咲町としての対応を今後検討したい。
地元業者との防災協定は、締結したのか。
また、非常時災害支援の協力をお願いしていく。

質問

空き家対策で
適正管理条例を

管理人に

要請していく

答弁



金谷高子 議員

生するため条例が策定された。行政としては、近隣に迷惑があれば管理人に要請していくというのが現状である。

問

高齢化や過疎化が進み空き家の件数が増加している。空き家が老朽化すると、台風などの自然災害時に、倒壊の危険性や害虫の発生による近隣への被害の恐れがある。埼玉県所沢市では空き家対策で適正管理条例を策定している。本町も条例化できないか。

答

定本町長

所沢市の適正管理条例は、空き家が放置され管理が不十分になると犯罪や火災が発

子ども・若者支援
地域協議会の設置を

問

本年4月に子ども・若者育成支援推進法が施行された。

若者をめぐる環境が悪化し、社会生活を営む上で困難を有する子ども、若者の問題が深刻な状況にある。

子ども・若者支援地域協議会の設置ができないか。

答

村島健康増進課長

子ども・若者育成支援推進法が対象としている三十歳未満の

ニート、引きこもりなどに對する対策はまだ取り組めていない。美咲町子育て支援地域協議会を活用しつつ、関係者の協力を受けながら、社会生活がスムーズにできるような支援や体制づくりを考えていきたい。

緊急医療情報キットの普及を図れ

緊急医療情報キットの普及を図れ

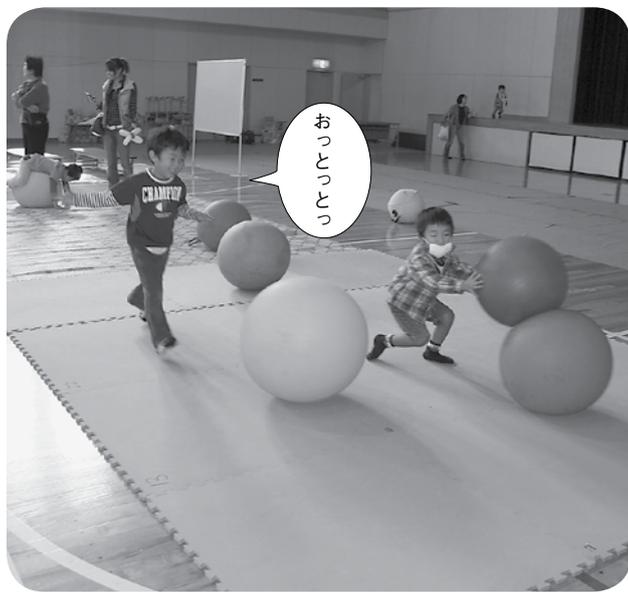
問

緊急医療情報キットは、緊急時に駆けつけた救急隊員

が、患者の情報を正確に把握し、迅速かつ適切な対応ができるのが狙いである。

キットは、かかりつけ医師や持病などの医療情報、診察券、保険証の写しなどをプラスチックの筒に入れて冷蔵庫で保管する。

このキットを六十五歳以上の一人暮らし、七十歳以上の高齢者世帯を対象に無料配布できないか。



みさき子どもまつりで楽しむ子たち

答

村島健康増進課長
緊急医療情報キットは、都市部を中心に取り組みが進められている。

本町としては、登録台帳の内容を基に、緊急時の医療情報だけでなく、災害への対応も含めた体制づくりに取り組んでいきたいと考えている。

学校には扇風機の増設が必要

問

小中学校の各教室に扇風機を設置しているが、さらに増設が必要である。また、教室全体を考えれば壁に設置すべきでは。

答

泉教育長

扇風機44台設置では18万円の費用がかかった。今後もできるだけ努力をしていく。

質問 農業公社運営に 支援の手を

農機具更新、 人材支援に努める



岡田 壽 議員

答弁

援には岡山県緊急雇用創出事業補助金を活用して農業公社に一人の人材を確保した。

助を考えている。

22年度から農地利用集積円滑化事業がスタートし農業公社が取り組む。

この事業は荒廃農地の発生防止や中核農家の育成に役立つもので、本来であれば町が取り組むべきものである。公社に対して人的支援を求める。

22年度から農業公社の事業範囲が町内全域に拡大された。公社が保有する農機具を買い替えるには、国・県の補助制度がない。

町の基幹産業を守る面から町独自の農機具更新助成が必要ではないか。

定本町長

農業公社の全町事業範囲拡大は公約であり22年度に実現させた。今後、町の規則に従って農機具更新の補

矢木産業観光課長

農地利用集積円滑化事業は、農地の貸し手から借り手に利用権の移動を円滑に行う仲介や、公社が貸し手農地を直接管理するもので、町内には農業公社とJA津山の二つの団体がある。

円滑化事業の人材支

質問 急がれる 携帯不通地域解消 解消に向けた 要望を継続

答弁



急げ！アンテナ整備

担金が必要となるため取り組めていない。町から携帯電話各社へアンテナ整備の要望は続けている。

住民に喜ばれるが。

遠藤情報交通課長

支所間バスは一日3往復している。21年度の利用状況は、旭線八千三百七十五人、柵原線七千三百五十七人で一日三十人強が利用している。

定本町長

消防団の機構改革が終了した時点で消防機具庫や避難場所の不通解消を考えている。

支所間バスの 有効活用を

町民の利便性、

一体感を狙った支所間バスの乗客は少ない。デマンド化や旧町内の巡回バスにすれば

利用者の多少では決め

問

谷あいや山間で携帯電話の不通地域が多い。災害時の不通は生死にかかわる。特に消防機具庫、避難場所の不通地域解消は急を要する。国の補助制度を利用して解消に努力するべき。

遠藤情報交通課長

総務省の補助制度があるが、携帯電話会社各社との協議や負

答

利用者の多少では決め

問

利用者の多少では決め

定本町長

柵原線は中央地域の人の利用もあり利便性がある。本庁と支所間の決裁書類の運搬にも利用しスムーズな行政にも便利であり、

利用者の多少では決め

質問

空き家・廃屋の
老朽化対策は

個人財産に対する
処置は難しい

答弁



貝阿彌幸善 議員

問

空き家・廃屋は本来所有者の管理が当然である。しかし、所有者の所在が不明で老朽化による危険性が生じた場合、事故が起こる前に行政で対応できないか。

答

難波企画財政課長 廃屋といえども個人の財産である。これを処分するとなれば法的な問題が発生する。家屋が倒壊して行政財産の障害になる場合は行政代執行の対象となるが、これ以外で

は難しい。

答

定本町長

住民間の問題に行政が介入することは好ましくない。申し出があれば、持ち主の連絡先を探して勧告、監督、指導はできる。撤去費用、法的な面は難しい状況である。

問

国に働きかけて撤去費用の補助はできないか。

答

定本町長

国土交通省は、都会の密集地を確保するため老朽化施設撤去補助金に社会資本整備総合交付金枠を具体化した。今後の地方への波及に期待する。

質問

どう生かす繰越金

当面は財政調整と繰上償還

答弁

問

21年度繰越金七億四千万円が発生した要因は何か。また、今年度はどう生かされるのか。

答

難波企画財政課長 国の景気対策である臨時経済対策事業交付金が交付され、これを通常の普通建設事業費に振り替えたため、当初支出予定であった建設事業費が繰越金として残った。さらに役場全体の経費削減分が加わったことが要因である。

地方財政法の規定により、繰越金の半額約三億六千万円を財政調整基金、五千五百万円を繰上償還金に充当し、残りを22年度補正

答

定本町長

予算の財源とした。うち、二億円程度を県工事負担金も含めた独自の公共事業に回し、残りを予備費とした。

問

国からの景気対策として受けた交付金であるならば、町内地場産業への手厚い景気浮揚策を取るべきではないか。今の景気状況を見れば厚みのある事業内容が必要と思われるが。

答

定本町長

通常の公共事業数は三百件程度であるが、21年度は四百五十件と五割増の工事を発注している。

今年2月に決定したきめ細やかな交付金事業は、3月末工期では期間が短いため二億円全額を22年度に繰り越した。町内の業者に継続的に発注できる方策が望ましいと判断した。



廃屋の危険防止には、行政対応も必要だ

質問

高齢者の見守りに
GPSの活用を

人権の観点から
研究の必要がある

答弁



松田英二 議員

問 認知症による高齢者の行方不明件数は全国で2万件以上に上っている。本町では、徘徊高齢者への対応についてはどのような対策がとられているか。

答 村島健康増進課長 認知症による徘徊は長期間続くものではないが、家族にとっては最も大変な時期。関係する機関に相談してもらえれば、その地域の民生委員などによるケア会議で見守りの

対応を取っている。地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座を開き徘徊に対する理解を深める活動を行っている。

問 愛媛県今治市などでは、民間企業との連携によりGPS機器を使った徘徊高齢者家族支援事業を行っているが、本町における実現の可能性はどうか。

答 定本町長 高齢者を在宅で介護する家族の状況はよく理解している。しかし、GPSなどの活用は人権擁護の観点から慎重に検討すべき課題であると考えている。

生涯学習活動の
積極的展開を

問 青少年の健全育成、高齢者の健康づくりに重要な役割を果たす生涯学習活動を今後どのように展開させるのか。各種団体の積極的な連携が必要では。

答 菅尾生涯学習課長 総合型地域スポーツクラブ、体育協会などを中心に人材育成を基本とし、現場の視線に立った総合的な展開を図り、生涯学習推進計画を策定していく。

問 総合的な展開を図るためには、交通手段であるバスの貸し出し、器具収納倉庫の提供など行政からのバックアップも必要ではないか。

答 定本町長 生涯学習については行政からの押し付けではなく、各種団体の自主的な活動が基本



岸田吟香を勉強中（生涯学習活動）

と考える。行政からのバックアップについてはできるだけの支援をしていく。

公共施設の

長寿命化を図れ

問 生涯学習の活動などで使用する町内各公共施設が老朽化している。毎年改修工事が頻繁に行われているが、この際、まず施設の老朽度をすべて調

査し、修繕計画を策定した上で、対症的な対策に転換することによってコスト縮減を図るべきと思うが。

答 菅尾生涯学習課長 地域における公共施設の活用状況を見定めた上で、必要な施設については順次調査して整備を進めるといいう方針を持って望みたい。

質問

柵原地域保育園

将来像は

関係者との協議を

重ねていく

答弁



林田 実 議員

問

柵原地域には藤原保育園、柵原西保育園、柵原東保育園3園に分散している。

今後、保育園の将来像をどのように描いていくのか。地域住民、関係者との慎重な対話を強く望む。

答

定本町長

まずは久木地区活性化のプラン図面を作成して、地域の意見を集約し、できればこの活性化策の中で関係者の方と協議を重ねていきたいと考えてい

住民の安心感を

確保せよ

問

本町は現在町内の主要公共施設にAEDを配置しているが、住民の安心感を確保するために避難場所、避難施設、企業、商店などへ設置範囲を広げられないか。

答

定本町長

現在保有している貸し出し用、訓練用を含めた19台のAED機器を有効に活用していきたい。

問

津山圏域消防組合旭出張所には救命救急士が配属されていない。高規格救急車と共に早期の配属がされるよう強く要望する必要がある。

答

定本町長

津山圏域消防組合の計画では、東分署の再編整備が終了した後に旭出張所へ救命救急士の配属を考えると、いうことになっていった。早期の配属に向けた要望を継続する。



過疎地にこそ救急救命士が必要！（津山圏域消防組合旭出張所）

障害者雇用の

実現に努力を

問

本町は、昨年来美咲物産において障害者雇用を実践しているが、現在の雇用形態は時限立法である。今後、単町事業として継続はできないか。

答

形井副町長

岡山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の補助金を活用して美咲物産において環境整備作業をお願いしている。この事業は雇用期間が6ヵ月で再雇用まで認められている。これ以降の雇用については他の事業で従事してもらえるように努力していきたい。

質問

保育園の入園奨励金を作れないか

保育料の減免措置で対応している

答弁



江原耕司 議員

問 津山市では、入園児に入園奨励金を支給しているが少子化対策の一環としては有効な手段ではないかと考える。

答 定本町長 現在美咲町では、保育園保育料を第一子については国の基準の65%、第二子は第一子の50%、第三子は

第一子の20%に設定し、かなり高い補助を行っている。

津山市の保育料は国の基準通りを徴集していることを考えれば、現状の本町の制度を継続する方が少子化対策にはより有効であると考えている。

問 かめつこ保育園では定員200人をかなりオーバーしており、将来待機児童が発生する可能性がある。

新しい施設の建設はできないだろうが、廃校となった学校施設を改造して使用することは可能ではないかと思われる。町長の考えはどうか。

答

定本町長

保育所の増設は、今後の人口動態も念頭に入れて慎重に考えなければならぬことである。保育所の施設については、国が定めた基準があり、その基準にあった保育環境を整えていかなければならないため、廃校施設を改造するというのは現実的ではない。

質問

分譲地の販売促進に看板の活用を

答弁

看板を設置して促進している

問

分譲宅地の販売促進で看板の設置が見当たらない。目立つ所へ設置して販売促進を積極的に行うべきである。

答

難波企画財政課長 21年度で、月の輪団地1区画、小原団地1区画、うたのしも団地30区画をそれぞれ販売している。

答

定本町長

町内には中央地域の小原団地・かみ団地・うたのしも団地、柵原地域の王子団地・大戸下団地があるが、それぞれに看板を設置して販売促進を行っている。



買ってください町有地!! (打穴中地内)

中央中学校新校舎 建設工事が始まる

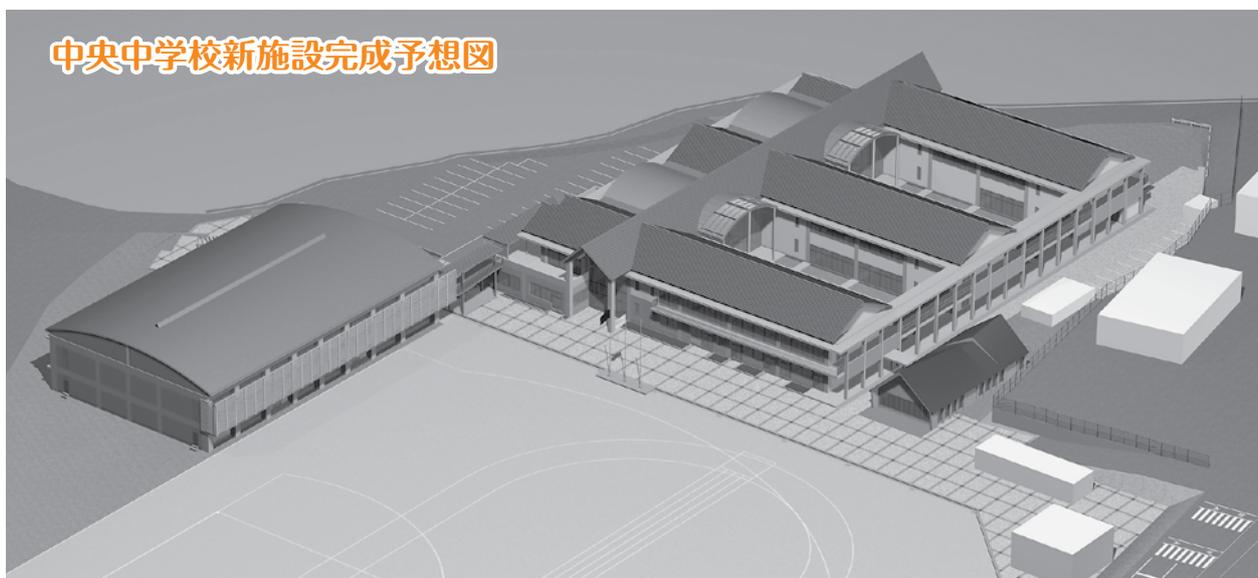
【中央中学校建設特別委員会報告】



来年の今ごろはきれいな校舎で勉強できそうだ

美咲町立中央中学校の新校舎建設工事が着工された。校舎棟・屋内運動場・音楽棟を平成23年6月末までに完成させ、来年の夏休み中に新校舎へ移転。平成23年9月以降から旧校舎などの解体撤去・グラウンド整備に着工し、平成24年3月末にはすべての工事を完成させる予定。特別委員会からは、ふんだんに木材を使用するよう求めた。

中央中学校新施設完成予想図



【議案承認】 工事請負契約を次のとおり全会一致で承認した。

- ◇中央中学校校舎、屋内運動場新築工事（原田）
工事請負人：蜂谷工業(株)（岡山市） 請負金額：11億6,119万円
- ◇中央中学校音楽棟新築工事（原田）
工事請負人：蜂谷工業(株)（岡山市）一旭木材(株)（美咲町）建設工事共同企業体
請負金額：4,798万円

議会費あれこれ

平成21年度の議会管理費支出額は八千九百二十五万五千五百五円で、一般会計に対する割合は0・8%となりました。主な項目は表のとおり。

【議会管理費】

項目	金額
議員人件費	5,998万4,729円
職員人件費	1,173万8,491円
経常管理費	406万3,957円 (議長交際費17万2,000円含む)
各種負担金	1,267万9,953円
監査委員費	73万8,375円
合計	8,920万5,505円

【議会活動日数】

各議員が一年間に公務で活動した日数をまとめてみました。

議長	207日 (町外・県外を含む)
副議長	108日 (町外・県外を含む)
各議員 (14人)	平均97日 (町外・県外を含む)

【議員報酬】

議員が受け取る月額報酬は次のようになっています。

議長	副議長	常任委員長	議員
31万5,000円	26万2,000円	24万6,000円	24万円

- ※表記の報酬に加えて期末手当を6月、12月に合計3.1ヵ月分支給しています。
- ※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。
- ※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。
- ※議会選出の農業委員1人は年額21万円を支給しています。
- ※各組合議会開催時(年間平均2回)には日額6,000円程度を支給しています。
- ※議員年金は、毎月の月額報酬から3万8,400円の負担金を支払っています。
- ◆他の市町村が支給している政務調査費・委員会手当などは支給していません。

組合議会からの報告

組合議会は、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織です。

岡山県中部環境

施設組合

(真庭市、美咲町)

9月8日、定例会を開催し、専決処分、ガス冷却ケーシングほか施設補修工事費八百三十万円などを追加する22年度補正予算千六百三十二万円の2議案が上程され全会一致で可決、承認。

報告事項

◎旭地域江与味地内に整備した最終処分場から真庭市内へ連絡する「林道上山長札線」新設工事に22年度から着工、26年度の完成を目指す。総延長2600m（このうち美咲町内は1400m）・幅員4mの道路で事業主体は真庭市が担当する。

久米老人ホーム組合

(静香園)

(津山市、久米南)

美咲町)

10月14日、定例会を開催し、一般会計・特別会計21年度決算認定、予備費などを追加する22年度一般会計補正予算四百二十二万円の3議案が上程され全会一致で可決、承認。

津山圏域

衛生処理組合

(津山市、鏡野・美咲町)

10月18日、定例会を開催し、専決処分、監査委員選任、21年度決算認定、予備費などを追加する22年度補正予算三千五百九十六万円の4議案が上程され全会一致で可決、承認。

津山圏域

西部衛生施設組合

(津山市、鏡野・美咲町)

10月18日、定例会を開催し、21年度決算認定、施設工事費四百万円、施設台帳作成委託料五百十四万円、現存施設の解体撤去費の積立金五百万円などを追加する22年度補正予算二千三百九十八万円の2議案が上程され全会一致で可決、承認。

勝英衛生施設組合

(美作市、西栗倉村、勝央・奈義・美咲町)

10月26日、定例会を開催し、専決処分、21年度決算認定、九百三十三万円を減額する22年度補正予算3議案が上程され、全会一致で可決、承認。

報告事項

◎組合議員の異動が報告され、勝央町選出の議員が交代となり、新たにの日笠郁夫氏と水島孝氏が加わった。

柵原吉井特別養護

老人ホーム組合

(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)

10月28日、定例会を開催し、21年度決算認定、予備費などを追加する22年度補正予算二千六百九十六万円の2議案が上程され全会一致で可決、承認。

柵原吉井英田

火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

10月29日、定例会を開催し、専決処分、21年度決算認定、予備費などを追加する22年度補正予算百七十七万円の3議案が上程され全会一致で可決、承認。



工事が進む吉井川荘（吉ヶ原地内）



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第10回
歌の力で!! もっともっと明るい美咲町へ

中央地域コーラスグループ “ローレルエコーズ”



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループと連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

正式な活動は平成11年4月から始めて今年で12年目を迎えました。

どんな活動をしていますか

美咲町文化協会・ボランティア連絡会などの会員として各種の行事に参加しています。

メンバー構成は

女性15人の仲間を楽しみながら仲良く頑張っています。

活動を始めたきっかけは

自然と音楽になじみ、その楽しさをたくさんの人たちと分かち合うことで美咲町をもっと明るい町に! そんな気持ちから始めました。

楽しいことは何ですか

歌うことももちろんですが、会の合間のティータム、おしゃべりタイムはとっても楽しいですよ。

最近嬉しかったことは

だんだんと活動の幅が広がって、津山市、鏡野町、久米南町の人たちとの交流が増えています。歌の力はすごいです。

これからの活動は

今、一番大切にしている「うたごえの集い」には30人~40人が参加しています。皆さんも一緒に歌いませんか。ただいま、会員募集中です。

議会に一言

これからも皆さんが楽しく生活できるように頑張ってください。

いつまでもこのパワーと若さで地域に活力を与えてください。

編集後記

今年の夏は大変な暑さでしたが、今は秋の収穫も終え、農家にとっては安堵のひと時を迎える時期です。

しかし、異常気象、米価の下落、後継者不足などの先行き不安は基幹産業である農業の存続にかかわることになるのではないかと心配されます。

編集委員会では、全国議会広報コンクールで最優秀賞を受賞された鳥取県北栄町議会への視察を行いました。

議会活動を町民に分かりやすく伝えることを基本として視察研修を生かし、美咲町議会広報の充実に努めてまいります。
(金谷記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

委員 金谷 高子

岩野 正則

草苅 良明

松島 啓